

【10月の予定】

鶺三小だより 十月号

令和6年長月26日 各務原市立鶺沼第三小学校

読書の秋です 今こそ読み時！

鶺沼第三小学校には、1万2千991冊の本があります。その内、絵本が2千772冊あります。図書館の後藤先生に教えてもらいました。ウ三小には思ったより絵本が多くありました。読書には、当然絵本も含まれます。1年生の時に国語で学習した「スイミー」ももともとは絵本です。絵本は何も小さい子だけの本ではありません。現に私の家にも、「もちもちの木」などの絵本が何冊もあります。絵本には絵本の良さがあるので、ぜひ図書館に行って絵本にも手をのぼしてください。おもしろいですよ。

さて、私はこの夏に7冊の本を読みました。その中の一つに「じっくりこない日本語」という本があります。言葉について書かれた本なのですが、改めて日本語、言葉について考えました。例えば、「優しい」という字は、よく見ると人を百回愛することだとか。「愛する」は、難しいので、「人のために働く」と考えれば、人のために百回働ける人は、「優しい人」といえるでしょう。「人のために働く」、全校の皆さんが、今年度力を入れて行っている「ボランティア活動」ですね。既にボランティア手帳を2冊終わらせている人は、172人もいます。手帳1冊には、ボランティア50回記録できるので、2冊ならば100回、人のために働いたと言うことです。ですから、ボランティア手帳を2冊以上終わらせた人は、間違いなく「優しい人」ですね。鶺三小は優しい人が多い学校です。

読書は、ただ本を読めばいいのではありません。大切なのは、読んでから一体何を思うのか、考えるのか、そして行動するのかということです。私は、言葉についての本を読んだ後、鶺三小の皆さんは、優しい人が多いことに気がつきました。夏の暑さも秋の涼しさへと移りつつあります。「読書の秋」の始まりです。どうぞ皆さん、夏休み以上にたくさん本や絵本を読んでください。そして読んだ後、いろいろ考えてみてください。また、先週校長室に遊びに来てくれた4年生の子に、「校長先生はなぜそんなに言葉を知っているのですか」と聞かれました。勿論、国語の先生だから、ということもありますが、やはり、本をたくさん読んだからに違いありません。皆さんはAIという言葉を知っていますね。日本語に直せば人工知能となるのでしょうか。AIはより正確な判断をするために、少しでも多くのデータを取り込むのだそうです。逆を言えば、より多くのデータが無ければ、よりよいAIには育たないということでしょうか。私はある意味、人間も同じだと思います。たくさん読書することは、より多くのデータを自分に取り込んでいることになるのではないのでしょうか。大人になった時に、より正しい判断をするために。読書をしなくても心優しい人はたくさんいますが、それでも、読書はやはり大切だと思います。以上「読書のすすめ」でした。

日	曜	行事等
1	火	就学時健康診断
2	水	5年ブックトーク
3	木	心電図検診
4	金	個人懇談
5	土	
6	日	
7	月	個人懇談
8	火	個人懇談
9	水	個人懇談
10	木	クラブ
11	金	前期終業式（給食なし）
12	土	秋季休業日
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	
16	水	
17	木	後期始業式
18	金	心のアンケート
19	土	
20	日	ふれあいフェスティバル
21	月	6年発育測定
22	火	5年発育測定 1年校外学
23	水	4年発育測定
24	木	3年発育測定 クラブ・ららら学習
25	金	2年発育測定 6年ブックトーク
26	土	
27	日	
28	月	1年発育測定
29	火	た発育測定
30	水	
31	木	委員会 ららら学習室



保護者の方へ 「こどものすがた」（通知表）の押印を廃止します

ご案内の通り、様々な行政手続きの中でDX化に向け、押印が廃止（もしくは省略）になってきています。そこで本校においても、今年度から「こどものすがた」への担任及び校長の押印欄を廃止いたします。とはいえ、私は校長として押印こそしません、全校児童633名の「こどものすがた」に目を通し、全員の内容等の確認は引き続きしておりますので、ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。